

見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

June 2019 vol.62

June						
S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

◆ 宗徳寺

所在地：蒲郡市一色町

交通：JR 東海道本線「三ヶ根」駅 南約 2km

蒲郡市一色町の宗徳寺は、山梨県の身延山久遠寺を総本山とする日蓮宗の寺院で、開山は文明 14（1482）年、500 年以上の歴史があります。この宗徳寺の境内に、昭和 20（1945）年の三河地震の断層活動により引き起こされた地割れ跡が保存されています。

三河地震は、三河湾の中央から北に向かい、途中、西に湾曲しながら幸田町内へ至る深溝断層と、西尾市吉良町から西に向かい、途中、北に湾曲して西尾市北部・矢作川付近まで至る横須賀断層によってもたらされたマグニチュード 6.8 の内陸直下型地震で、死者 2,306 名、住家の全半壊 23,776 戸の被害が発生しています。蒲郡では、特に形原町、西浦町に被害が集中し、237 名の方が命を落としています。真冬の未明の地震で、家屋の倒壊により多くの方が就寝中に圧死しました。

深溝断層は、陸地部分では形原町音羽川河口より北進し、宗徳寺のある一色町から幸田町深溝まで進み、約 90 度西へ曲がりながら三ヶ根山を迂回し、逆川の北方に至っており、陸地部分での延長は約 9km に及んでいます。



宗徳寺（宗徳寺 HP より）



境内の地割れ跡

宗徳寺は、この深溝断層のすぐ傍に位置しており、断層活動により境内に地割れが発生しました。地震当時の様相を物語るこの地割れ跡は、昭和 51 年に市の天然記念物に指定されており、指定時の延長は 41m にも及びました。その後、堆積物などにより埋没が進んだため、平成 15 年 3 月には、堆積物の除去による復元と見学コースの整備が行われています。

また、境内には地震により被災した番神堂が改修を経て現存していますが、この番神堂は、地震による地面の隆起で地震前より 1.5m も持ち上がっており、後に階段が設置され、1.5m の段差を階段を利用してアクセスするようになっています。



番神堂へ至る階段

深溝断層は、宗徳寺の地割れ跡のほか、幸田町深溝の断層跡（2017.1 月号参照）、断層活動でできた段差の残る水路（幸田町）など、各地でその痕跡を目にすることができます。また、宗徳寺の近くには、地震で崩れた土塀の残る本光寺（幸田町）、地震で折れた鳥居の柱の残る天満神社、犠牲者を慰霊した忘れじの碑のある形原神社（2015.1 月号参照）もあります。ぜひ近隣の地震の史跡もご覧ください。なお、宗徳寺では絵入りの御朱印、御首題がいただけますので、御朱印、御首題をいただくのとあわせて、地震の歴史に触れていただくのも良いでしょう。



段差の残った水路（幸田町）



◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していただくとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。



◆宗徳寺の周辺には…

●^{だいこういん}大光院（松島地蔵菩薩）

所在地：蒲郡市西浦

交通：名鉄蒲郡線「西浦」駅南約3km

嘉永7(1854)年の安政東海地震による津波で、松島に繁茂していた多くの松の木ともども、地蔵菩薩が流失

しました。その後、バラバラになっていた地蔵菩薩の胴体が、地曳き網や打瀬網で拾われ、縁の元である大光院に移されました。この地蔵菩薩は現在、大光院入口石段の下段の場所に鎮座されています。



●^{かたのはら}形原神社（忘れじの碑）

所在地：蒲郡市形原町 交通：名鉄蒲郡線「形原」駅北西約1km

この碑は、三河地震の大災害を受けて、33年目を記念して建てられたもので、「犠牲者の霊を慰め、且つまた後の世の戒めとしたい」という有志の願いが込められています。

◆詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をご覧ください。

★形原温泉あじさい祭り

形原温泉あじさいの里は、120種類50,000株のあじさいが植栽された東海地方随一のあじさいの名所です。このあじさいの里を中心に、毎年6月の1か月間、形原温泉あじさい祭りが開催され、約10万人が訪れます。



Aichi Now HP より

期間中は日本のあじさい展やあじさい祭り観光写真コンテストが開催されるほか、夜間（日没から午後9時30分）にはライトアップが行われ、昼間とは違った幻想的な情景を見ることができます。また、併設のほたるの宿では、午後7時30分頃より、ゲンジボタルの乱舞も鑑賞できます。

あいちの農産物

みかんは冬の果物ですが、ハウスみかんは暖房しながら育てることで、初夏から秋にかけて収穫・愛知県園芸農産課HPより出荷されるみかんで、露地のみかんより果肉が軟らかく、糖度が高くなっています。



愛知県では昭和44年に全国に先駆けて栽培が始まり、収穫量は全国第2位で、ブランドとしても蒲郡市の「蒲郡温室みかん」や美浜町の「みはまっこ」などが有名です。

●ブレイクタイム●

♪べっぴん深海魚

愛知県内で深海魚を獲る沖合底引き網漁船は4隻ありますが、そのすべてが蒲郡市内の漁港に所属しており、県内の9割以上の深海魚が蒲郡で水揚げされています。べっぴん深海魚は、蒲郡で水揚げされる深海魚に三河の醸造文化を組み合わせ、見た目も味も格別においしく仕上げた逸品です。

高級食材・アカザエビをはじめ、メヒカリ、ニギス、アカムツ（ノドグロ）などが水揚げされ、市内の旅館・ホテルでべっぴん深海魚に仕立て上げられて提供されます。（3～6月限定）



蒲郡市観光協会 HP より

◆この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、gensaisan2014@gmail.com まで情報をお寄せください。

◆県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をぜひご覧ください。

（発行：減齋の会・名古屋大学減災連携研究センター 令和元年6月）

